

研究計画書

| | | | |
|--------|--|------|------|
| ゼミ名 | 上島康弘ゼミⅡ | チーム名 | クリリン |
| タイトル | 就活の歴史と変化 | | |
| テーマ群 | g)その他 | | |
| メンバー | | | |
| 研究計画内容 | <p>2020年4月7日、東京都、大阪府などの7都道府県で緊急事態宣言が発令された。これを機に、全都道府県に緊急事態宣言が発令された。コロナウイルスの流行で経済は大きな打撃を受け、10月6日時点で6万3347人の失業者が発生している。</p> <p>このコロナ禍で就職活動がどのような変化を見せているかに私たちは注目した。働き方がオフィスワークからテレワークに変化しているように、就職活動も対面面接から Web 面接に変化している。このような変化を確認するためには、今と昔の就職活動を比較する必要がある。そのため、就職活動の歴史を調べ、就職活動がどのように変化してきたのか、今と昔で変わらなかったものは何かなどを研究する。</p> <p>まず、日本の雇用システムについて調べ、それを他国と比較する。その日本の雇用システムを前提とし、就職活動の歴史を調べる。日本の雇用システムが確立されたのはいつか、企業の選考基準・学生の重視することの変化、就職活動の時期の変化について言及する。</p> <p>次に、コロナウイルスの影響で変化した点と変化しなかった点をまとめるため、実際に企業の人事部で働いている方にインタビューを行なう。求める人材を獲得できたか、コロナウイルスの影響で変わったことは何か、変わらなかったことは何か、採用人数に変化はあったか、雇用形態に変化はあったかについて問う。また、就職活動を終えた4年生にアンケートを実施し、コロナ禍での就職活動で苦労したことは何か、例年の就職活動と比べて変化したと思うことは何かを問う。</p> <p>この研究で、就職活動の変化を確認し、今後の就職活動の変化の見解を提示する。</p> | | |